株式会社アイリッジ

証券コード 3917

情報・通信業 ｜ グロース（内国株式） ｜ 決算期 3月末日 …

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

ミッション

テクノロジーを活用して、わたしたちがつくった新しいサービスで、昨日よりも便利な生活を創る

売上高	調整後営業利益
82億円	5億円以上

2 中長期の経営戦略

1. アプリビジネス事業の継続成長

APPBOXの機能拡張、受託開発の標準化、開発パートナー企業の開拓、パートナープログラムの促進により事業領域を拡張

2. デジタル領域への展開と生成AI活用

既存の強固な顧客基盤を活かし、アプリ関連領域以外のデジタル領域や生成AIを活用したDXサービスの創出を推進

3. ビジネスプロデュース事業領域への進出

統合マーケティング支援やビジネスコンサルティングを行う領域で社内体制を強化し、戦略から実行支援までの一気通貫体制を構築

4. 新規事業の創出・成長加速

人材リソース最適化プラットフォーム「Co-Assign」の導入拡大と機能拡張、リテールメディアなど時代のニーズに合わせた新規事業創出

3 対処すべき課題

① 事業基盤の拡張と領域統合

・累計300アプリ超、MAU1億ユーザー超の顧客基盤をアプリ関連以外の領域に活用
・APPBOXプラットフォーム機能拡張による市場拡大
・ビジネスプロデュース領域への進出による顧客提供価値向上

② 優秀な人材確保と組織体制整備

・多岐にわたる経歴を持つ優秀人材の積極採用
・働きやすい職場環境の構築とモチベーション向上施策
・営業・開発・管理体制の整備

③ システム安定稼働とM&Aによる成長

・インターネットサービス提供の基盤となるシステム保守・運用の継続的改善
・既有資産とのシナジーを検討したM&A実施

面接で使えるポイント

・アプリビジネス事業を中核として、APPBOXプラットフォームの機能拡張と開発パートナー開拓を推進中
・累計300アプリを超える導入実績とMAU1億ユーザーの顧客基盤を活かしたデジタル領域拡張
・2027年3月期に売上高82億円、調整後営業利益5億円以上をオーガニック成長で達成目標

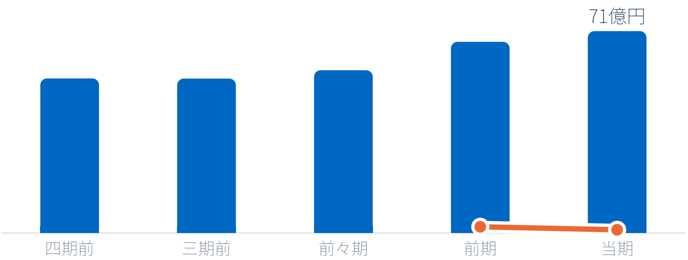
出典: 金融庁EDINET 有価証券報告書「経営方針、経営環境及び対処すべき課題等」（書類ID S100W30V）
原文を生成AI（claude-haiku-4-5-20251001）が要約・再構成したものです。正確な内容は原文をご確認ください。

株式会社アイリッジ

情報・通信業 ｜ グロース（内国株式） ｜ 決算期 3月末日 …

証券コード 3917

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高	営業利益率	財務健康度
71億円	1.6%	29点 ／100点

将来性 曇り ／ 就活偏差値 49.3（当サイト算出の参考指標）

要するに

テクノロジーを活用したサービス開発を手掛ける情報通信業の企業

主力事業・セグメント

・Application　74.8%
・コンサル　23.9%
・Fintech　1.3%

強み・特徴（公開データから）

・–（判定に必要な数値が未開示）

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

平均年収	平均年齢	平均勤続	女性管理職	男性育休
748万円	41.3歳	4.0年	–（未開示）	50.0%
情報・通信業内 147位/592社	情報・通信業内 139位/593社	情報・通信業内 442位/593社		情報・通信業内 258位/297社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース＋一言

参考: 株式会社アイリッジ：2026年3月期通期決算説明会文字起こし